

「私的プロデュース論」についてのディスカッションが開催されました。

講師：山納洋／吉田順年／間宮吉彦／羽場一郎／フランツ・オリバー／越田英喜
日時：平成23年7月12日（火） 18時30分～20時30分
場所：中之島BANKS

前回の山納塾長による講義「私的プロデュース論」についてのディスカッションが行われました。コーディネーターとして吉田塾長に指揮をとっていただき、セルフ・プロデュースやStrongVision、社長と営業とプロデューサーの関係についてなど様々な意見が交わされました。以前にも増して塾生同士の発言が飛び交いとても盛り上がりのあるディスカッションとなりました。次回のデザインビジネス塾はミュージックセキュリティーズ株式会社 小松真実氏の講義となっております。



ディスカッション中に発言された言葉・用語

劇場のような箱が無い時に生み出す力 自分の今の背景を活かす 他人を引きつける 自分の経験知を高める、成果物を得る リーダーシップ 代表取締役・営業の人とプロデューサーの関係 中継人のセンス デザインだけを見ている? 理由を明確化 クライアントの上司を説得するための資料づくり 消費者を見た提案をデザイナーと一緒に考える 皆に利益が出るように 視座 他人カメラ 甲には乙の気持ちがわからない 金の流れがチカラ関係ではない 発注側の考えが変わることもある クライアントを変える、断ることも。 A面とB面 インハウスの上司を説得する工夫? まず聞く キーマンの考えに沿い、かつ、合致させる。 趣旨、意義をつたえる 泥臭い中でも 社内であっても、最初の目的がぶれないこと モノづくりの最初の気持ち? 誰が見ても分かりやすいモノづくり 作った経験、自分が使った経験 マリオネットのティーバック 自分が楽しむ 機能+遊び心=受け入れられるか? One Book One OSAKA はらぺこあおむし 巨大絵本今年はぐりとぐら ネズミは小さいままで? 子供をねずみに 自分にとってのプロデュース ガチガチの中でのデザイン 言葉で人を納得させる 絵を見せて納得させる A面を小さく 面白さは簡単 strong vision持っている人 コミュニケーション お客さんもやりたい気持ちに ネームバリューの有無 新人の時には意見が通らなかった 地位・経験の有効性 プロデューサーは30歳以上? 知識・経験 経験があれば相手への想定が広がる 壁を越えられない上司 クライアントを観察 自分のことをまず理解する 他者を自分の中で増やす 若くないと出てこない発想 20代では自分を出す 30代では少し引く 誰かにやらせる 変わるきっかけ デザインが好きでなくなったとき 人によってA面とB面の定義が違う A面がB面に入ってくる人もいる モノに行くのか、人に行くのか 多くの条件をこなす人はクリエイターか? 与えられた条件の中でどうすり抜けるか 100人の塾生が日本のデザインを変える リスクを誰が抱えるか 企画者、デザイナー、パートナー、俺がやる まず疑う オリジナル 自分がブランド 良ければ放っておかない 必死と思い行動すれば美しい セルフ・プロデュースの努力 植木を切る機会 デザイン以外のことを経験 カセットのAB面が無い人間になる 生徒がインストラクターになる条件整備 趣旨・意義が条件制約でずれていく メールを早く返す、貯めない 何か長所をつくる 任されるための武器を 引きつけるものは努力でなんとかかなる? 通用する武器が人によって異なる クライアント自身にも全ては分かってない デザイナーとぶつかって良いものができれば 先天的に分かる人と、コミュニケーションがとりにくい人がいる 昔の仕事は人をうまくチーム化すること 現状・原因改善から共感・レベルアップを セルフ・プロデュースを意識している 個性を発揮 短所を置いて長所を伸ばす 大企業では個性が発揮できない? プロデューサーはインチキくさい? デザイナーはプロデュース力が必要 他人のお金を預かる プロデュース力はこの塾の最終目的? 強い意志を持ったビジョン ビジネス塾は越田塾頭がプロデューサー 全てを経験している人はいない 自分のスタイルで